第68号　　2010年3月

よこすか Yokosuka PTA

編集兼発行人 横須賀市ＰＴＡ協議会

横須賀市立光洋小学校

今春、光洋小は ３７年の歴史に幕を閉じます

「かもめ団地」の建設に伴う鴨居小の児童数増加により光洋小が創立され、１９７３年４月に児童数７４５名でスタートしました。１９７９年には児童数１３５２名にまで増えてピークを迎えましたが、その後児童数が減少し、現在では児童数１１９名となりました。そのため、鴨居小と統合することとなり、２０１０年３月をもって光洋小は閉校することとなりました。縦割り活動やきめ細かな指導など小規模校ならではのよさを活かしたいろいろな教育活動が行われてきました。たくさんの思い出を残し、光洋小は３７年の歴史に幕を閉じます。ありがとう光洋小学校。

光洋小こどもの歌

一
光あふれる　校庭に
若木が伸びる　ぐんぐんと
仲よく遊び　元気に走る　大空に向かって
ララララ　ラン・ラン・ラン
大きく育つ　光洋の
ラ・ラ・ララ・ララ・ララ　子どもたち

二
潮風受ける　教室に
若木が伸びる　すくすくと
楽しく学び　望みを高く　明日に向かって
ララララ　ラン・ラン・ラン
豊かに育つ　光洋の
ラ・ラ・ララ・ララ・ララ　子どもたち

さようなら 光洋小

「光洋小こどもの歌」は、
校歌として歌い継がれてきました

教育長との懇談会

１月25日の地区部会役員会において、横須賀教育委員会永妻教育長との懇談会が行われました。「家庭教育が果たす役割」をテーマに、はじめに教育長は、PTA の取り組み、学校、保護者、子ども達との関わりなどの現状について、「教育委員会として『キャリア教育』の推進に力を入れて行きたい。自立した大人になるため小中学校の内から将来を見据え保護者、学校、地域と協力して子ども達の教育を進めて行きたい。また基本的習慣、社会的マナー、命の尊さを、家庭において親が責任を持って子どもの意識の中にしっかり植えつけていく事が大切である。」と話されました。その後、各部会役員と意見交換が行われ、最後に佐野会長より、「社会や大人達の言動が、知らず知らずの内に将来の夢について答えられない子どもにしてしまっている。大人達も充分に注意しなくてはいけない。」という言葉で会は終了しました。

祝 創立記念

おめでとう

長井小学校　120 周年

公郷小学校　60 周年

桜小学校 10周年

「光の子どもたち　桜の子」

平成 11 年4月、坂本小学校と青葉小学校が統合され、桜小学校として開校された本校が、創立 10 周年を迎えました。

本校のこの10年の歩みを顧みますと、歴史ある校が培ってきた伝統を取り入れながら、さらに新校としての特色や魅力を打ち出していくなど、今日に至るまでに幾多の苦労がありました。桜小学校は、横須賀市の中央に位置し、坂本中学校、不入斗中学校に隣接するとともに、緑が多く自然に囲まれ、児童も心豊かで活気に満ちあふれています。保護者、地域の皆様も学校教育に対する関心・期待は大きく、日々、多大なご支援をいただき、その中で、本校は地域社会に根差した「桜小の教育」を創造していきます。

学区内9つの町内会より記念品として電波掛け時計をいただきました。大切に使わせていただきます。

神明小学校 30周年

6月18日(木)、体育館にて、創立30周年記念集会が行われました。

この日は、山本元校長先生、伊藤前校長先生や、地域の自治会長さん方、PTA 役員など、たくさんの方々がかけつけて下さり、神明小学校30年の歩みを皆でお祝いしました。

集会では、計画委員会が司会進行し、集会委員会が神明小クイズで集会を盛り上げ、音楽委員会の伴奏で、記念歌「みんな大好き神明小」を合唱しました。また、先生方も記念樹・記念誌の紹介したり、昨年度行われた航空写真撮影の様子を、紙芝居で披露して下さるなど、子どもたち中心の楽しい集いとなりました。

今回お披露目された記念歌「みんな大好き神明小」は、昨年度作詞・作曲・題名ともに全児童から募集し、それをもとに、作詞は計画委員会と国語部の先生が、作曲は音楽委員会と音楽部の先生が作ったものです。この歌のように、代々の神明っ子たちが「大好き」と言ってくれるような神明小で在り続けてほしいと思います。

神明中学校 30周年

10月31日(土)体育館にて、創立30周年の記念式典が開催されました。開会セレモニーのスライド上映、音楽部合唱から始まり、来賓の方々よりお祝いのことば、在校生代表として出席した3年生による発表などが続き、会場全体での校歌斉唱で締めくくられました。

3年生による発表では、31代生徒会長のことば、スライド「神明中のこの1年」上映、詩「今までの感謝とこれからの希望」朗読、合唱「OMNIBUS　STAR」を披露しました。

開会セレモニーでのスライドです。創立当時からの写真にあわせて、第1期生、当時の15歳から「15歳のあなたたちへの手紙」として「大切なことはきちんと言葉で伝えること」のメッセージが紹介されました。創立間もない頃の学校風景には「懐かしい」の声も。

図書ボランティア

11月26日(木)生涯学習センターにおいて、学校図書館ボランティア養成講座第1回総合編が開催されました。

まず、教育委員会の方より、学校図書館についてその役割や現状、また学校図書館ボランティアとはどんなものなのかのお話がありました。図書館を十分に活用出来ていない現状があることや、司書教諭の負担が大きいこと、整備や管理には時間や労力がかかることなどからも、学校図書館ボランティア活動の必要性を感じました。一方では、打ち合わせの時間がとれないなどの難しい点もあげられ、先生やボランティア同士のコミュニケーションが大切であるとわかりました。学校教育を理解し、先生と信頼関係を築いて、自律的な活動に発展するために皆さんの力を役立てて欲しい、何より自分たちのための活動になって欲しい、ということでした。

後半は、実際に学校図書館ボランティアの活動が行われている長沢中学校・鴨居小学校・鶴久保小学校での事例発表があり、それぞれの活動内容についてお話をうかがいました。

質問も飛び交う有意義な講座となりました。

わんぱくフェスティバル

わんぱくフェスティバル2009が、10月24日(土)、総合福祉会館で開催されました。

不入斗中学校・浦賀中学校・鴨居中学校の吹奏学部が出演し、素敵な演奏を聴かせてくれました。

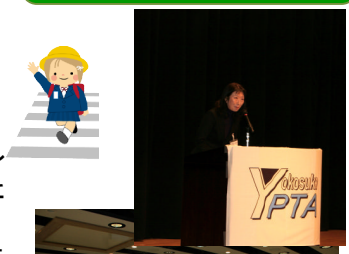
不入斗中学校・浦賀中学校・鴨居中学校の吹奏学部が出演し、素敵な演奏を聴かせてくれました。

また、横須賀市PTA協議会は駄菓子・ポップコーンの模擬店を出しました。用意した商品はあっという間に完売しました。

小雨が降る肌寒い天気でしたが、1500名もの人々が来場しました。会場は歌や踊りを見たり、とん汁やチョコバナナを食べたり、ゲームをしたりと、子どもたちの笑顔であふれていました。

小・中学校情報交換会

小学校情報交換会



昨年12月5日(土)、市立横須賀総合高校にて、平成21年度小学校PTA情報交換会が開催されました。市内の小学校・養護学校・ろう学校の学校長、PTA会長、副会長等、多数の方々に参加されました。

まず最初に、市P協会長の挨拶、こども安全推進委員会委員長の開催趣旨説明が行われました。

次に、教育委員会の方より学校の防犯についての取り組みについての現状報告がありました。ここ近年、横須賀市では授業時間内での不審者などの事案発生していないとのことでしたが、全校で防犯カメラを設置(平成19年度より)、登下校時以外は校門を閉める、新入生への防犯ブザーの配布(平成18年度より)、不審者に対する対策訓練などいろいろな取り組みが行われているとのことでした。また、地域と連携して、職員、保護者と一緒に地域のパトロールを行っている学校も多数あるとのことでした。

次に、市民安全部の方から地域での防犯活動についての講演がありました。市では、移動防犯教室、地域防犯リーダー養成講座など、いろいろな活動が行われています。防犯の一つとして、声かけをして地域のコミュニケーションを良くして行くこと、安全安心の第一歩は“あいさつ”が大切というお話がありました。

その後、3分科会に分かれて意見交換しました。各校、地域の方達とのコミュニケーションのとり方は、地域性、学校の規模などによってさまざまであり、対策については、普段の生活の中で堅苦しくなく、自分のペースでできるように、犬の散歩、自発的な行為、お祭りなどに参加して歩み寄り、地域に顔見知りを増やすなど、前向きな意見がたくさん出ました。

中学校情報交換会

平成21年度中学校PTA情報交換会は、昨年12月10日、ヴェルクよこすかにて開催されました。市内25中学校の校長先生、PTA役員・警察・行政関係の方など80名近い方が集まりました。

今回のテーマ「防犯」について、現状の報告や活動・問題点についての報告がされ、防犯対策をする上で、中学生特有の問題点があるとしてお話しいただきました。

- 深夜の徘徊・・・携帯電話での誘い(断ることが出来ない)
- たまり場現象・・・コンビニ・公園等(深夜の店の営業、塾帰り)
- 不審者・・・学校のガラスが割れる、わいせつ事件の低年齢化

その他、小学生との防犯対策の比較がされ、「中学生は被害者でもあるが加害者でもある！」と指摘があり、社会の背景が関係していると言うことでした。

各テーブルに分かれてのディスカッションでは、防犯パトロールについての事前アンケートをもとに、各学校が実際に行っている防犯パトロールの現状の報告がありました。

パトロールの趣旨・回数・時間・場所・様々な意見が報告され、苦労している問題点や、工夫している点など様々な情報が交換され終始関心を持って聞くことが出来ました。

これからも、力不足ではありますが私たちPTAや学校・地域が連携をとりながら、防犯パトロールに深く取り組み、住みよい安全な街作りをしていく必要があります。

人権講演会指導者研修会

9月29日(火)　講師　孫　理奈　氏
『ケインと生きて、ロスモンド・トムソン症候群という障害。難病を持った我が子の命の記録』
～ウェルシティにて～

世界で300例という難病におかされながらも、本人の強い生きようとする力、世間の冷たい目に引きこもってはいけない事、人に頼ってもいい事、家族の優しさ、思いやりを知りました、と語ってくれました。

家庭教育講演会

11月16日(月)
山梨県都留文科大学講師・滝口　峰子氏
『英語力と日本語力の微妙な関係』
～ウェルシティにて～

子どもが、英語に興味をもった時がチャンス。最初から難しい本などを選ぶのではなく、絵が入り、自分の実力よりも少し簡単なものを選ぶことにより想像力、英語力がついていく。また、1日1ページ、5分でも毎日続けることが、大切だというお話を伺いました。

新春のつどい

平成21年度横須賀市PTA協議会 広報コンクール

インターネット・ケータイ に関する講習会開催

近年、小・中学生の間で携帯電話やインターネットに関する犯罪に巻き込まれたり、不適切な書き込みにより人間関係のトラブル(いじめ等)に発展するなど事象が増加しています。ケータイやインターネットは、便利な反面危険性も持ち合わせているのです。子どもたちにケータイを持たせるのであれば、我々親が正しい使い方を知り、またその危険性をきちんと理解することが大切です。横須賀市ＰＴＡ協議会では、今年度２回の講演会を実施しました。

さらに来年度から市内７４校のＰＴＡ(保護者)を対象として、全校において講演会を実施する方針です。

たくさんのご参加をお待ちしています。

編集後記

本紙への感想、市P協へのご意見・ご要望は、市P協事務局まで。
Tel： 824-1478　Fax： 824-1480
E-mail： yoko-PTA@proof.ocn.ne.jp